



けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。 「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する
情報をお知らせします～



防寒ジャケットを着た子牛



寒さに負けずスクスクと成長中です🐄

目次

- ・福島地域酒米研究会が「新酒お披露目会」を開催しました！（農業振興普及部）・・・P 2
- ・福島市・川俣町農業士会総会及び研修会が開催されました！（農業振興普及部）・・・P 3
- ・川俣シャモ振興会がJGAP団体認証を取得しました！（農業振興普及部）・・・P 3～P 4
- ・6次化商品販売向上研修を開催しました！（農業振興普及部）・・・P 4
- ・（一社）福島県国際農友会「令和元年度全体研修会」が開催されました！（伊達農業普及所）・・・P 5
- ・特定農業用ため池に61か所が指定されています！（農村整備部）・・・P 6
- ・山火事注意！（森林林業部）・・・P 6
- ・県北地方防霜対策本部を設置しました！（農業振興普及部）・・・P 7
- ・「安達地方山菜等出荷説明会」を開催しました！（安達農業普及所）・・・P 7
- ・伊達市の栽培わらびの出荷制限が解除されました！（森林林業部）・・・P 8
- ・山菜の出荷制限、確認をお願いします！（森林林業部）・・・P 9
- ・新しい食品表示への切り替えはできていますか？（企画部）・・・P 10
- ・けんぽくの直売所紹介「けんぽくの道の駅巡り④」・・・P 11～P 12



福島地域酒米研究会が「新酒お披露目会」を開催しました！

令和2年2月24日（月・祝）、福島市の「ウエディング エルティ」において、「福島地域酒米研究会」主催による「令和元年度 新酒お披露目会」が開催され、会員や一般参加者など約110名が参加しました。

お披露目会に先立ち、「農業からはじまる古くて新しい酒造り」と題し、入手困難とされる日本酒「No.6（ナンバーシックス）」や、「Colors（カラーズ）」、「PRIVATE LAB（プライベートラボ）」等の代表銘柄をもつ秋田県の「新政酒造株式会社」の佐藤祐輔代表取締役社長が、現在のブランド価値を形作るまでの取組について、経営的な視点から記念講演を行いました。

新酒お披露目では、福島市の木幡浩市長による乾杯後、講師から提供された「No.6 X-Type」や福島市産酒米を使用した「古関メロディ」や「精一杯」「摺上川」「福島大学の純米吟醸 福ぼん酒」等の日本酒が振る舞われました。参加者は酒米栽培やパッケージの説明を聞きながら、美酒を味わっていました。

当事務所では、「福島地域酒米研究会」が来年度もさらに発展した活動ができるよう、支援していきます。

（農業振興普及部）



福島市長による乾杯



新酒お披露目会後、来賓含め記念写真を撮影！！



講師の佐藤祐輔社長による「No.6」の説明



大盛況の「福ぼん酒」と「あらかわ」の試飲

福島市・川俣町農業士会総会及び研修会が開催されました！

令和2年3月3日（火）、福島市の旅館「湯乃家」において、福島市・川俣町農業士会主催による「令和元年度総会及び研修会」が開催され、会員等22名が出席しました。

新規認定指導農業士へ認定書が授与された後、「福島地域酒米研究会」の丹野友幸会長と当事務所の高橋主査から「福島市における酒米生産と地域振興」について講演があり、会員からは「日本酒を介して農業者と地域振興が結びついた事例で大変勉強になった」と大変好評でした。

また、総会では、今年度の事業実績及び収支決算報告、来年度の事業計画及び収支予算、規約改正が承認されました。

当事務所では、今後も福島市・川俣町農業士会が活発に活動できるよう引き続き支援を行ってまいります。

（農業振興普及部）



新規認定指導農業士へ認定証書の授与



福島地域酒米研究会の取組について講演

川俣シャモ振興会がJGAP団体認証を取得しました！

令和2年2月21日（金）、川俣シャモを生産する農家の団体「川俣シャモ振興会」が肉用鶏部門では全国初となるJGAP団体認証を取得しました。

川俣シャモ振興会では、東京オリンピック・パラリンピックへの食材提供を目指し、今年度当初からJGAP認証取得に向けて、勉強会の開催や自己点検の実施などに取り組んでおきたところであり、会員の方々のこれまでの努力が実を結ぶ結果となりました。

認証取得に当たって、「川俣シャモ振興会」の菅野会長からは「当初は113もの管理点があり不安もあったが、やればできるということを実感した。今後も安全・安心な川俣シャモを生産していきたい。」との力強い言葉がありました。

当事務所としましては、川俣シャモ生産農家が今後も継続してGAPに取り組むことができるよう、引き続き支援を行ってまいります。

（農業振興普及部）



勉強会の開催(令和元年8月)



知事表敬訪問

6次化商品販売向上研修を開催しました！

令和2年3月3日(火)及び9日(月)、福島市の福島学院大学駅前キャンパスにおいて「もも・りんご栽培基礎セミナー～6次化商品販売向上研修～」を開催しました。

本セミナーは、福島市、JAふくしま未来及び当事務所で構成する「福島地域新規就農者等果樹栽培スキルアップ連携会議」の主催により、新規就農者等を対象に年間を通して開催しており、今回が今年度最後の研修となりました。

これまでは、実際の栽培管理や農作業安全などの現地研修を行ってきましたが、今回の研修では、福島学院大学の木村信綱教授を講師に招き、「6次化商品販売向上のための『デザイン』について学ぶ」と題し、商品デザインの流れや広告の出し方のポイントなどについて連続2回のワークショップ形式で研修を行いました。

受講者からは「自分の商品にこだわりを持って、どこのだれに届けたいのか、はっきりさせることが大切と感じた。」などの感想が聞かれ、今後の経営発展に向けて新たな視点が得られた有意義な機会になったようでした。

当事務所としましては、経営感覚に優れた新たな農業者の育成のため引き続き支援を行っていきます。



ワークショップ形式での研修

(農業振興普及部)

(一社)福島県国際農友会「令和元年度全体研修会」が開催されました！

令和2年2月27日(木)、福島市飯坂町の「摺上亭大鳥」において、一般社団法人福島県国際農友会主催による「令和元年度全体研修会」が開催され、県内各地の会員等約60名が出席しました。本研修会は、会員の経営力向上のため、毎年県内各地で行われており、今年度は伊達支部の企画立案で開催されました。

研修会では「農産物の高付加価値化～健康機能性を中心に～」と題し、福島大学食農学類の升本早枝子准教授に講演をしていただきました。機能性表示食品制度は平成27年4月に設けられたもので、生鮮食品を含めた全ての食品が対象となっていますが、機能性成分を分析しやすい加工食品に比べて生鮮食品で届出されている事例は未だ少ないとのこと。これは、分析方法が確立されている品目が少ないために農業者が制度を販売面でうまく活用できていないことに理由があるようです。升本先生は青森県産リンゴの機能性表示食品の届出に携わった経験があり、届出に必要な手順や機能性表示をすることの利点等をわかりやすくお話してくださいました。

受講後、会員からは「機能性表示制度について理解ができた」「付加価値を付けるための手法として機能性成分が使いそう」等の意見が聞かれました。今後、県内で機能性成分に着目した果物の消費拡大や高付加価値化の取組が始まることが期待されます。

なお、翌日に開催予定だった伊達市霊山町での現地研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

当所では今後も福島県国際農友会伊達支部の活動支援を通して、地域農業振興に取り組んでいきます。

(伊達農業普及所)



県農林水産部長の祝辞を代読する岡部農業振興普及部長



福島大学食農学類の升本准教授の講演

特定農業用ため池に 61 か所が指定されています！

決壊などにより周辺区域に被害を及ぼすおそれのある農業用ため池を「防災重点ため池」と位置付けています。そのうち、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」の指定要件に基づき、県内で 357 か所のため池が「特定農業用ため池」に指定され、当事務所管内では 61 か所が指定されています。

「特定農業用ため池」においては、土地の掘削や盛土又は切土、竹林の植栽などのため池の構造的な安定に影響を及ぼす行為が制限され、改修などを行う場合には、県の許可が必要となりますので注意してください。

(農村整備部)



桐目木溜池 (国見町)



境田池 (川俣町)

山火事注意！

空気が乾燥し山火事の発生しやすい季節となりました。

山に入るときには、たばこの投げ捨てやたき火などしないようにお願いします。

また、農地への火入れを原因とする山火事が増えていますので、必ず消火対策を準備し、風のあるときには行わないなど、徹底した火の管理に御協力をお願いします。

「守りたい 森と未来を 炎から」

令和2年全国山火事予防運動統一標語

(森林林業部)



林野火災防ぎょ訓練の様子(福島市)



山火事注意チラシ

県北地方防霜対策本部を設置しました！

令和2年3月17日（火）、当事務所内に「県北地方防霜対策本部」を設置しました。5月31日（日）までの76日間にわたり、霜注意報等気象情報の収集や管内の市町村、JA等と連携して凍霜害防止について技術対策の支援を行います。

県北地方は、もも、なし、りんご、おうとう等果樹の一大産地であり、開花前から結実までの時期は凍霜害の危険性が高いため、被害防止対策が重要となります。本年は1～3月の気温が高く、3月16日現在で、ももは近日中に発芽する見込みであり、りんごやなしの発芽も平年より1週間程度早まる予測となっています。野菜は、育苗または定植の時期を迎え、収穫期にある露地野菜も凍霜害の対策が必要な時期となります。

今後も凍霜害が発生しやすい農作物の生育ステージが続きますので、引き続き対策の徹底をお願いします。

（農業振興普及部）



対策本部の看板を設置

「安達地方山菜等出荷説明会」を開催しました！

令和2年3月4日（水）、福島県二本松合同庁舎会議室で当所主催による「安達地方山菜等出荷説明会」を開催しました。

原発事故より丸9年をむかえる現在でも、県北管内では出荷制限指示が出されている「野生山菜等」があることや「山菜類の出荷可否判断方法」のフローチャートで「野生山菜等」か「栽培する山菜類」かを確認すること、「栽培する山菜類等」であっても要件の確認が必要なこと等説明しました。

また、毎年、問い合わせがあるタケノコの出荷制限解除については、まだ安達地方は難しいこと、県内でも中通り、浜通りで出荷制限されている市町村が多いこと、他県でも出荷制限されている市町村があること等、詳しく説明しました。

これらの説明を受け、出席されたJA、市場、直売所の販売に携わっている皆さんは、消費者に安全・安心な農産物を届けるために、特に山菜類は確認すべきことが多いことを再確認していました。

当所としては、今後も森林林業部と連携を密にし、生産者や直売所等へ最新情報の伝達に努めていきます。

（安達農業普及所）



安達地方山菜等出荷説明会

伊達市の栽培わらびの出荷制限が解除されました！

令和2年3月10日、伊達市の栽培わらびの出荷制限が解除となり、台帳に登載された18名の生産者が栽培したわらびが今シーズンから出荷・販売できるようになりました！

伊達市においては、栽培わらびの出荷制限解除のため、出荷希望者を募り、ほ場の手入れの状況や空間線量、発生するわらびの放射線量等の測定を平成30年度から続けてきました。

平成30年度、31年度の2年間、採取して検査を行ったわらびの検体すべてが50Bq/kgを下回った18名の生産者の48ほ場について、伊達市の「栽培わらび生産者台帳」に登録し、国に対して出荷制限解除の申請を行い、この度解除が認められました。

(出荷可能な生産者については、当事務所のHPを御確認ください。)

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/tokuyourinnsan.html>

この春からは、伊達市の直売所等に伊達市産の栽培わらびが並びますので、見かけたら是非、お買い求めください！

なお、新たに出荷を希望する場合、ほ場の管理状況やわらびの放射線量を事前に確認する必要がありますので、まずは当事務所森林林業部林業課（電話：024-521-2632）まで御連絡くださいますよう、お願いいたします。

(森林林業部)



わらびのシーズン、間もなくです！(写真はイメージです)

山菜の出荷制限、確認をお願いします！

県北地方では、下記のとおり出荷制限指示が出されております！！

再度確認のうえ、出荷制限品目を出荷・販売しないよう、御協力願います。

令和2年3月現在

くさそてつ (ごごみ)	福島市	二本松市	伊達市	桑折町	国見町	川俣町	大玉村
たけのこ	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	桑折町	川俣町	大玉村
ふきのとう (野生もののみ)	福島市		伊達市	本宮市	桑折町	国見町	川俣町
ぜんまい		二本松市				川俣町	
ぜんまい (野生もののみ)							大玉村
たらのめ (野生もののみ)	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	桑折町	川俣町	大玉村
わらび						川俣町	
わらび (野生もののみ)	福島市	二本松市	伊達市				
こしあぶら	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	桑折町	国見町	川俣町 大玉村
ふき (野生もののみ)					桑折町		
うわばみそう (みず) (野生もののみ)						国見町	

出荷が制限されている品目については、自主検査により「基準値（100Bq/kg）以下」であっても出荷や販売（無人販売所等への陳列や他者への無償譲渡含む）は行わないでください。また、飲食店や宿泊施設等での提供や加工用原材料としても使用しないでください。

なお、最新の情報は福島県ホームページなどで確認いただくか、当事務所にお問い合わせください。

◆ふくしま新発売。（農林水産物モニタリング情報）URL

<http://www.new-fukushima.jp/>

◆お問い合わせ先

福島県県北農林事務所 森林林業部林業課

電話 024-521-2632

FAX 024-521-2851

（森林林業部）

新しい食品表示への切り替えはできていますか？

平成27年に食品表示法が施行され、新たな食品表示の制度がスタートしました。新たな制度に対応した表示へ切り替えるための猶予期間（経過措置期間）は、加工食品の場合、**令和2年3月31日まで**となっています。食品の製造者、加工者、輸入者、販売者など、表示を作成される事業者につきましては、新たな表示への切り替えをお願いします。

表示の具体的なルールは、食品表示基準によって定められています。新ルールの主な変更点は以下のとおりです。

■新ルールの主な変更点

①アレルギー表示に係るルールの改善

- ・ 拡大表記の廃止
- ・ 原則個別表示、例外的に一括表示が可能

②栄養成分表示の義務化

- ・ 原則すべての加工食品に栄養成分表示をする

③原材料と添加物を明確に区分して表示

- ・ 原材料名と添加物の間を記号（ / ）で区切る、改行する、別欄を設ける等

消費者庁のHPでは、事業者向けのパンフレットや「食品表示基準Q & A」のダウンロードが可能です。ぜひ参考にしてください。

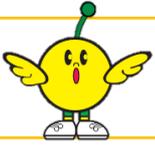
（消費者庁 食品表示企画課 https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/）

県北管内での表示に関するお問い合わせ先は、下記のとおりです。

（衛生事項、保健事項に関しましては、福島市内の事業者は福島市保健所へ、それ以外の市町村の事業者は県北保健所へお問い合わせください。）

相談内容	相談先	
品質事項 (原材料名、内容量、 原料原産地名)	福島県県北農林事務所 企画部 指導調整課	024-521-2597
衛生事項 (添加物、アレルギー表示、 賞味・消費期限、保存方 法)	福島市保健所 衛生課 食品衛生係	024-597-6358
	福島県県北保健福祉事務所 生活衛生部 衛生推進課 食品衛生チーム	024-534-4305
保健事項 (栄養成分表示)	福島市保健所 健康推進課 健康増進係	024-573-4384
	福島県県北保健福祉事務所 健康福祉部 健康増進課	024-534-4161

(企画部)



けんぼくの直売所紹介

けんぼく道の駅巡り④

県北管内には現在8つの道の駅があります。今回は「道の駅巡り」の最終回として、川俣町の「道の駅 川俣」と二本松市の「道の駅 さくらの郷」をご紹介します！ドライブの休憩や、休日のお出かけはぜひ道の駅へ！！



道の駅 川俣



川俣町の特産「川俣シャモ」を買うなら、道の駅内の「かわまた銘品館 シルクピア」へ！現在シルクピアは5月1日(金)の再オープンに向けて改装中のため仮店舗で営業中ですが、JGAPを取得した川俣シャモを食べにぜひお越しください！
敷地内にはJAふくしま未来の直売所「こころ」や「絹の里」として栄えた川俣町の歴史を展示した「おりもの館」などもあります！

【駅長のおすすめ商品】



地鶏ご飯の素2合用

地鶏の旨みと香りを楽しんでください。
シルクピア価格 670円。

【オススメ6次化商品】



スモークレッグ

手軽に食べられる骨付きです。シャモの旨みを味わってください。1本 1,000円～。

〒960-1406 伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13-1 ☎024-566-5253

<https://www.town.kawamata.lg.jp/site/kanko-event/silkpia-shisetsuannai.html>

道の駅 さくらの郷



二本松市旧岩代町の国道349号線沿いにある道の駅です。道の駅から1kmほどの場所には樹齢約170年の「合戦場の枝垂れ桜」があり、豊かな花を咲かせます。
地元で採れる新鮮野菜をはじめ、地元産小麦を使った石窯ピザ(週末限定)や地元産そば粉を使ったそばの提供も大人気です。
美しい日本の原風景を見に、ぜひお越しください。

【駅長のおすすめ商品】



天ざるそば

地元岩代高原産のそば粉を手打ちした十割そばに、季節の天ぷらを合わせた人気メニューです。一人前 1,000円。

【オススメ6次化商品】



そば焼酎「合戦場のしだれ桜」 720ml

地元岩代高原産のそばを 100%使った、さくらの郷のオリジナル商品です。1,632円。

〒964-0301 福島県二本松市東新殿平石田 12-2 ☎0243-68-4770

<https://www.sakura-no-sato.com/>

編集・発行 福島県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

